訓練コース内容

識別コード	22L0405	訓練コース番号	5-04-27-207-05-0106					
訓練科名	長期高度人材育成コース(介護福祉士養成コース)(2年)							
訓練期間	令和4年4月1日(金)~令和6年3月29日(金)							
訓練実施校名	大阪国際福祉専門学校							
所在地	大阪市天王寺区夕陽丘町3-10							
電話番号	06-6771-4188	受付時間	9:00~17:00					
事前説明会日時	2月4日(金)、2月5日(土)、2月9日(水)、2月12日(土)、2月14日(月)、2月17日 (木) 実施時間はいずれの回も10:00あるいは15:00開始で、約90分です。各回とも 同一内容です。							
選考試験日	3月8日(火)							
試験科目	個人面接							
入校に必要な 最 終 学 歴	高等学校卒業資格もしくは同等資格以上							
最寄り駅	Osaka Metro 谷町線 四天王寺前夕陽ヶ丘駅(徒歩1分・距離0.1km) JR・Osaka Metro 御堂筋線 天王寺駅(徒歩15分・距離0.9km) 近鉄線 大阪上本町駅・Osaka Metro 谷町線 谷町九丁目駅(徒歩15分・距離 O.9km) 近鉄 南大阪線 大阪阿部野橋駅(徒歩18分・距離1.0km)							
備考	原則登校になりますが、緊急事態宣言などでオンライン訓練を実施する場合、受講に必要な備品(パソコンもしくはスマートフォン、モバイルルーター、アプリケーション等)は自己負担となります。							

【最寄り駅からの地図】



委託訓練カリキュラム

				<u> </u>	川水ハソコ						
特別の年3月29日(24か月) 東生労働大臣指定の介護福祉士養成課館のカリキュラムを中心に、校内での産学による知識習得と実践に同じた。	訓練科名	介護福祉士養成コース(2年)		 2年)		社会福祉施設や障がい者施設等において介護を中心とした自立支援や企助・援助業務をおっ					
調練目 (表現) 大阪存留得し、学外実習では、現場でより必要とされる介護・福祉に関する専門的知識と技能を習得する。 (土上がり像	訓練期間				職務∙仕事		/C日立文版で月 切 ⁻ 版切:	本 物でのこ			
「正かい 「	訓練目標	演習により技る。	術を習得し、学	外実習では、	現場でより必	要とされる介語	護・福祉に関する専門的知識と	:技能を習得す			
訓練概要	仕上がり像	介護福祉士資格を有する専門的な人材として、福祉施設の介護職や専門性を活かした職種への									
議案 八郎の事態と目立て必要。	訓練概要	介護のプロフェッショナルとしての専門知識・技術の修得はもちろんのこと、校内での演習授業や学外実習 においては現場で必要とされる利用者さんや家族さん、スタッフ間でのコミュニケーションカの向上にも注									
講義	領域	形態		科 目			科目の内容	時間			
 人間と社会 議義 社会の制度と環境工(必須) 私たちの生活と社会について学ぶ 30 30 30 計画表演習 74 60 9月 20 9月 30 14 20 14 50 4条 64 14 50 48 14											
社会		A11 1-4			(必須)						
(社会 演義/演習 フィールドワーク(必須)	人間と										
排棄	社会										
講報/ 語音											
講教											
講義 介質の基本1 (必須) 基礎・自立度の今え方											
議議 介質の基本Ⅱ(必須) 事例終計・研究の目的の指数と対して、						基礎-介護福祉	:士としての基本的視点を学ぶ				
講義 介護の基本収の須別 アレーマーの開始では福祉士権 30 講義 演習 コミュニケーション技術の (必須) アレーマーで の情報関係の構築 30 調整/演習 コミュニケーション技術の (必須) 応用編子上間の情報の具体や実施 30 調整/演習 生活支援技術 (必須) 基礎・日産アラ・身体の 清後保持 30 調整/演習 生活支援技術 (必須) 基礎・日産アラ・身体の 消後保持 30 類整/演習 生活支援技術 (必須) 基礎・日産アラ・身体の 消後保持 30 類整/演習 生活支援技術 (必須) 財団温売が健康内 章本 洗湿 特殊・世解する 30 類整/演習 生活支援技術 (必須) 財団温売が健康内 章本 洗湿 特殊・世解する 30 類整/演習 生活支援技術 (必須) 摩がい別等率例応用・福祉出界・心急手当等 30 類整/演習 生活支援技術 (必須) 摩がい別等率例応用・福祉出界・心急手当等 30 類整/演習 生活支援技術 (必須) 摩がい別等率例応用・福祉出界・心急手当等 30 類整/演習 生活支援技術 (必須) 摩がい別等率例応用・福祉出界・心急手当等 30 類整/演習 生活支援技術 (愛がい 1) (必須) 摩切の現場・神・提及・理解する 30 類整/演習 生活支援技術 (愛がい 1) (必須) 摩切の現場・神・経療・経療・ 30 調整/演習 生活支援技術 (愛がい 1) (必須) 摩がいきからの非常性・な状況を理解する 30 調整/演習 イ芸支援技術 (愛がい 1) (必須) 摩がいきからの非常性・砂土を、現定を理解する 30 調整/演習 外援過程 (必須) 基礎・介護制度・のが混かした。サモルを実施を、のが表がとかが表が、対象を実施を、のが表がとかが表が、対象を対し、のが、対象を対し、のが、対象を対し、のが、対象を対し、のが、対象を対し、のが、対象を対し、のが、対象を対し、のが、対象を対し、のが、対象を対し、のが、対象を対し、のが、対象を対し、のが、対象を対し、のが、対象を対し、のが、対象を対し、のが表をとかいでは、のが表がとかが表との対象を対象をです。 30 対象/演習 が提過程 (必須) 応用・利理過程におけるトールアーローの実際等 30 対象/演習 が提発目 (必須) 応用・利理過程におけるトールアーローの実際等 30 対象/演習 が提発目 (必須) 応用・利理過程におけるトールアーローの実際等 30 対象をとを他の理解 (必須) 応用・対理過程におけるトルアーローの実際等 30 対象をとを他の理解 (必須) 応用・利理過程におけるトルアーローの実際等 30 対象を対しの理解 (必須) 応用・利理過程における体の理解を実施・の支援等 30 対象・対数をとしている場所であず 50 海室 対象をとしている場所であず 50 海室 対象をとしている場所であず 50 海室 対象をとしている場所であず 50 海室 対象にの場所での場別 現場を対する自力主とする 50 源金 こころとからたのしくみ (必須) 医療・管を支えの特殊との関係を学ぶ 30 活象 こころとからたのしくみ (必須) 医療・経療がし、対象とと同面は状の可能と実施・つなり解 30 源金 こころとからたのしくみ (必須) 医療・経療のは、実施手順) 60 経療が、対理を対したいが発にの場 30 源金 こころとからために、分別 50 第金 こころとからために 40 第金 ころとからために 40 第金 ころとからために 40 第金 では、対域は、対域は、対域は、対域は、対域は、対域は、対域は、対域は、対域は、対域		講義	介護の基本 I B(必須)				30			
議義											
講義/演習 コミュニケーション技術の(必須) 基礎編・利用系や家族との信頼関係の構築		講義									
講義/演習 コミュニケーション技術 6 (必須)		H11 114									
譲渡 渡置 生活支援技術 I (必須)											
# 2											
介護 講義 (清智 生活支援技術 II 心名)											
↑ 護 講義 / 演習 生活支援技術 (
介護 講義/演習 生活支援技術で必須											
介護 講義/演習 生活支援技術 (WA)											
講義/演習 生活支援技術 (即がいコ) (必須)	∧ =#										
譲義/演習 生活支援技術(障がい面) 必須 海がいを持つ種の利用者にあったが穏や支援の実践 30 清義/演習 生活支援技術(障がい面) (必須 和子・手格・理整がいめの正定たの問題の七年の辞世を印度をいる 30 清義/演習 介護過程 I (必須 本経・利用者のニン (解決すべき生活課題)や可能性を把欄 30 清義/演習 介護過程 I (必須 基礎・分類計画への活かした。事実の捉え方等 30 清義/演習 介護過程 I (必須 基礎・分類計画への活かした。事実の捉え方等 30 清義/演習 介護過程 I (必須 50 50 50 50 50 50 50 5	が護										
講義/演習 生活支援技術 (総分い田) (必須)											
講義/演習 介護過程 [心須]		講義/演習	生活支援技術(障	⁵がいⅡ)(必須)		障がいを持つ個	々の利用者にあった介護や支援の実践	30			
講義/演習 介護過程Ⅱ(必須) 基礎一質の高い情報の収集と分析等 30 講義/演習 介護過程Ⅲ(必須) 基礎一質の高い情報の収集と分析等 30 講義/演習 介護過程Ⅲ(必須) 応用・利用者にとって最善の支援策・介護計画の立案 30 京田・介護過程に必須) 応用・利用者にとって最善の支援策・介護計画の立案 30 京田・介護過程にがらオールア・ナの実際等 30 介護拠者で「必須) 介護過程におけるナールア・ナの実際等 30 介護拠者で「必須) 介護週程におけるナールア・ナの実際等 30 介護拠者で「必須) 介護週程で「必須) 大護期場で大塚宇智の意義の重要性を学ぶ 60 演習 介護実習Ⅱ(必須) 大護期場で大塚宇智の意義の重要性を学ぶ 60 演習 介護実習Ⅱ(少須) 大護期場で大塚宇智の意義の重要性を学ぶ 60 演演習 介護実習Ⅱ(少須) 大護要習 大野連の中域に大塚大田知道を大の理解 60 講義 認知症の理解Ⅱ(必須) 認即症の中核症状と問知症状の理解と家族への支援等 30 規集事例検討・食事・排泄・入浴・排御・幻覚・幻聴等 30 規集事例検討・食事・排泄・入浴・排御・幻覚・幻聴等 30 規集事例検討・食事がい・福祉の基本的理念を学ぶ 30 講義 声がいの理解Ⅱ(必須) 基礎・排がいの技術・技術・が経り・本がらたのしくみⅡ(必須) 本の様様の仕稿み等を理解する 30 直接を対からためにしくみⅡ(必須) 生命様様の仕稿み等を理解する 30 直接を対からためにしくみⅡ(必須) 生命様様の仕稿み等を理解等 30 生命様の仕稿み等を理解等 30 正常を支える・治療実験との関係を学ぶ 30 講義 こころとからだのしくみⅡ(必須) 本の様はかに推定が表を理解する自立支援 30 本の様はかに対したがこころ等の理解等 30 医療のケア実施の基礎 「審仮現1(基礎知識・実施手順) 接てをうまるのにのよりに対しまが表しまが表しまが表しまが表しまが表しまが表しまが表しまが表しまが表しまが表		講義/演習	生活支援技術(障	∮がいⅢ)(必須)		点字·手話-視覚障	がい者の生活上の問題点や社会的障壁を知る	30			
議義/演習											
講義/演習											
講義/演習 介護過程V (必須)											
演習											
演習		H17 10-47 10-4-									
演習											
演習											
講義 発達と老化の理解(必須) 高齢者や障がい者との対人折衝についての理解 60 60 60 60 60 60 60 6					百)						
講義 認知症の理解 I (必須) 認知症の中核症状と周辺症状の理解と家族への支援等 30 調義 認知症の理解 I (必須) 現場事例検討-食事・排泄・入浴・徘徊・幻覚・幻聴等 30 調義 障がいの理解 I (必須) 基礎・障がいの概念と障がい福祉の基本的理念を学ぶ 30 講義 障がいの理解 I (必須) 佐那・砂川・福祉の基本的理念を学ぶ 30 講義 こころとからだのしくみ II (必須) 生命維持の仕組み等を理解する 30 講義 こころとからだのしくみ II (必須) 生活を支える介護実践との関係を学ぶ 30 講義 こころとからだのしくみ II (必須) 生活を支える介護実践との関係を学ぶ 30 							い者との対人折衝についての理解				
「						認知症の中核症					
からだの しくみ 講義			認知症の理解Ⅱ(必須)				30				
議義			障がいの理解 I (必須)			基礎-障がいの概念と障がい福祉の基本的理念を学ぶ		30			
注訴義											
講義 こころとからだのしくみII (必須)	しくみ										
医療的ケア (必須) 終末期におけるからだ・こころ等の理解等 30 医療的ケア (必須) 終末期におけるからだ・こころ等の理解等 30 医療的ケア (必須) 医療的ケア (必須) 医療のケア (多級) 医療のケア (多級) 医療のケア (多級) 医性神・大変の引 (基礎知識・実施手順) 60 経管栄養 (基礎知識・実施手順) 60 経管栄養 (基礎知識・実施手順) 60 接管栄養 (基礎知識・実施手順) 60 議義 安全衛生(必須) 安全衛生 3 第											
医療的ケア (必須) 医療的ケア (必須) 医療的ケア (必須) 医療の (基礎知識・実施手順) 60 を管業後 (基礎知識・実施手順) 60 を管業後 (基礎知識・実施手順) 60 との (基礎知識・実施手順) (基礎知識・実施手順) (基礎知識・実施手順) (基礎知識・実施手順) (基礎知識・実施手順) (基礎知識・実施手順) (基礎知識・実施手順) (基礎知識・実施予値) (基礎和書 (基礎知識・実施手順) (基礎知識・実施手順) (基礎和書 (基礎知識・実施手順) (基礎和書 (基礎知識・実施手順) (基礎和書 (基礎知識・実施手順) (基礎知識・実施手順) (基礎和書 (基礎和書 (基礎知識・実施手順) (基礎和書 (基礎和書 (基礎知識・実施手順) (基礎和書 (基礎知識・実施手順) (基礎和書 (基礎和書 (基礎知識・実施手順) (基礎和書 (基礎知識・実施手順) (基礎和書 (基礎知識・実施手順) (基礎和書 (基礎知識・実施手順) (基礎和書 (基礎和書 (基礎知識・実施手順) (基礎和書 (基礎和書 (基礎和書 (基礎知識・実施手順) (基礎和書 (基礎和書 (基礎知識・実施手順) (基礎和書 (基礎和書 (基礎和書 (基礎和書 (基礎知識・実施手順) (基礎和書											
演習 医療的ケア II (必須) 実地手順・演習 60	医療的	講義 医療的ケア I (必須) 演習 医療的ケア I (必須)			医療的ケア実施	布の基礎					
演習 医療的ケア II (必須) 実地手順・演習 60 60 60 60 60 60 60 6	ケア										
その他の 講義 働くことの基本ルール(必須) 働くことの基本ルール											
その他の 講義 介護福祉特講 (必須) 国家試験の対策 30 国家試験の直前対策 30 国家試験の直前が東 30 国家試験の直前が東 30 国家試験の直前が東 30 国家試験の直前が東 30 国家 30 世界 30 世	その他の講座										
その他の 講義 介護福祉特講エ(必須) 国家試験の対策 30 国家試験の直前対策 30 国家試験の直前対策 30 国家試験の直前対策 30 国家試験の直前対策 30 国家試験の直前対策 30 国家試験の直前集中対策 30 国家試験の直前集中対策 30 国家試験の直前集中対策 30 国家試験の直前集中対策 30 国际 3											
講義											
講義 介護福祉特講IV (必須) 国家試験の直前集中対策 30 31 34 32 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34											
講義 健康心理学 選択											
講義 障がい者スポーツ概論(選択) 障がいを理解しは、ツ活動の指導ができる知識を学ぶ 30 講義 アロマセラビー(選択) 安全で正しいアロヤラビーの基本知識を身につける 30 講義(演習 介護福祉特講 I (必須) 就職活動の/かかを知り、採用試験に対応できる力をつける 30 減習 面接指導(必須) 模擬面接により応答の実践力をつける 15 演習 就職面談(必須) 就職活動に係る個別面談 15											
講義 アロマセラピー(選択) 安全で正しい7ロマセラビーの基本知識を身につける 30 講義/演習 介護福祉特講 I (必須) 就職活動の/か/を知り、採用試験に対応できる力をつける 30 就職活動の/か/を知り、採用試験に対応できる力をつける 30 模擬面接により応答の実践力をつける 15 演習 就職面談(必須) 模擬面接により応答の実践力をつける 15 訓練時間総合計 2,346 時間											
講義/演習 介護福祉特講 I (必須) 就職活動の/ウックを知り、採用試験に対応できる力をつける 30 演習 面接指導(必須) 模擬面接により応答の実践力をつける 15 演習 就職面談(必須) 就職活動に係る個別面談 15 訓練時間総合計 2,346 時間			アロマセラピー(選択)								
演習 就職面談(必須) 就職活動に係る個別面談 15	就職支援		介護福祉特講 I(必須)		就職活動のノウハウマ	を知り、採用試験に対応できる力をつける	30			
演習 就職面談(必須) 就職活動に係る個別面談 15			演習 面接指導(必須)								
					就職活動に係る個別面談						
学科 1,773 時間 実技 510 時間 就職支援 63 時間						訓	練時間総合計 2,346	時間			
	学科	1,773	時間	実技	510) 時間	就職支援 63	時間			